

事業番号	09 04 25	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県営林経営費 造林事業			担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり		E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
		3多様な森林の整備の促進		実施期間	S47 ~		

1 事業の概要

目指す姿	持続的かつ自立した林業経営を図るため、伐期の多様化や適地適木による多様な森林の造成を行うとともに、新たな課題や要請に対応することにより、「地方林業の経営に模範を示し、もって林業の振興発展に寄与する」という県営林の目的の高度発揮を目指す。 成果目標 県内素材生産量 H23:329千m ³ → H29:610千m ³
------	--

現状 (予算編成時)	県営林の森林資源は、伐期に至らない林分がほとんどで、間伐等の保育作業が必要である。他方、森林資源は確実に成熟しつつあることから、間伐材の販売を通じて収入の確保を図りつつ、将来の伐期に備えた施業を行っている段階である。 また、皆伐を見据えた更新のあり方や、オフセット・クレジット制度への対応など、時代の要請に応じた課題に積極的に対応している。 H25末見込 県営林間伐面積 400ha 県営林生産物処分材積 13,121m ³
------------	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：困難	時代背景や経済動向などに左右されずに継続して模範的な林業経営を行うことが必要 (県有林管理規則、県有林の管理等に課する要綱)

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	第9次県営林管理経営計画 (H24~28) に基づく間伐面積2,000ha及び生産物処分材積71,265m ³ を達成するため、400haの間伐実施、14,580m ³ の材積を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				(当初)	(決算)	H27 (当初)
	造林事業 (県有林、一般分収林、特殊分収林)	委託	適正な管理及び経営を行うための間伐等の施業を実施する	163,839	118,780	148,306
	森林国営保険 (県有林)	直接	間伐実施箇所等で加入する森林国営保険料	3,662	2,080	2,720
	造林資金償還金 (県有林、一般分収林)	償還金	過去に借り入れた造林資金の償還金	121,638	119,465	119,735
	その他事業に必要な経費 (県有林、一般分収林、特殊分収林)	直接	事業箇所の調査補助、消耗品等	1,861	1,343	2,953
			合計	291,000	241,668	273,714

事業コスト	区分 (単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	
	前年度繰越	2,121	17,168	15,509	29,791	
	当初予算	280,078	284,049	291,000	273,714	
	補正予算	-50,955	1,680	-32,372		
	合計 (A)	231,244	302,897	274,137	303,505	
	Aの財源	一般財源	128,023	139,628	139,069	124,603
		県債	32,000	63,000	37,000	65,000
		国庫支出金	31,612	39,244	51,698	64,922
		その他	39,609	61,025	46,370	48,980
	決算額 (B)	210,016	218,608	241,668		
概算人件費	職員数 (人)	0.85	0.85	0.85	0.85	
	概算人件費 (C)	7,019	7,019	7,019	7,019	
概算事業費 (B+A)+C)	217,035	225,627	248,687	310,524		

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
県営林間伐面積 (ha)	254	400	194	未達成	400
県営林生産物処分材積 (m ³)	13,663	14,580	12,119	未達成	14,534

目標に対する成果の状況	木材価格の低迷により、条件の厳しい現場では間伐材の売払い収入による財産確保の見通しが立てられず、見送りをせざるを得ない団地 (93ha) があったこと及び、下方道路の通行不能による翌年度への繰越 (33ha) があったため、面積目標は達成できなかった。 また、搬出できる現場で間伐を中心に伐採と木材の販売を集中的に行ったが、生産物処分材積についても目標を達成できなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き適正な森林管理に努めるとともに、林業事業体の搬出技術を育成指導しながら、成熟しつつある森林資源を利用し、積極的な生産物処分事業の実施を中心に収入の確保を図り、模範林としての機能をより高度に発揮する。